

個人教育改革の

取り組みについて

質問

誠和会

林 修三

◆教育問題

問 学校教育における豊かな体験活動を具体的にどう推進するのか。

教育長 小・中学校においては、体験学習を取り入れる時間として、各学校が創意工夫を活かして、教科の枠を超えた「総合的な学習」の時間を設けています。中学生の職場体験学習もこの「総合的な学習」の時間を活用します。また、本市が推進する幼小中連携教育の中での交流活動をはじめ、地域の方々との学習やボランティア活動等、多くの人々とのふれあいを大切にした体験活動を実施しています。

問 幼小中高連携教育の全国大会の効果について。

教育長 幼小中高連携教育の全国公開は、教職員、地域の皆様、全国からの教育関係者の来訪により、5千人を超える参観を得て、成功裏に終了することができましたが、人づくりは短い

期間では、成果が明らかに
はなりません。現在は高い
評価を得ている連携教育で
すが、今後、長い期間を置
いて、十分にその効果を検
証するとともに、短い期間
においても、改善点がない
かを見極めていきます。

問 幼小中高連携教育の今後の推進について。

教育長 改正された学校教育法は従来小学校と中学校と分けて表記されていた目標を、義務教育の目標として、1つにまとめてます。このことは、小中学校の連携を今後一層推進することを明確にしたものです。今後、児童・生徒がより落ち着いて学校生活を送り、将来に夢と希望を持ち、一層確かな学力が身につけられるようにするとともに、健やかな心身育成を図ることができるよう努めます。

問 教職員研修制度の現状について。

教育長 教職員の力量を高めるための研修制度として

は、初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修が制度化されており、本市では、初任者研修と5年経験者研修の隙間を補うため、経験2年目の教員と3年目の教員を対象に学級経営研修会を開催しております。さらに、学年主任研修会・指導層教員研修会等の層別研修会を開催し、教員が経験年数や校内における役割に応じた力量を得られるよう研修を行ってまいります。

問 スクールカウンセラーの配置や充実について。

教育長 現在4名のスクールカウンセラーが、八街中、八街中央中、八街南中、八街北中に、それぞれ1名ずつ配置されております。スクールカウンセラーは勤務校と連絡を綿密にとり、安全・危機管理体制の中で、きめ細かい取り組みをしております。

※その他の質問

◆総合計画と財政計画

◆高齢者福祉の充実

◆教育基本法の改正

◆社会人講師の活用

◆青少年健全育成

について質問しました。

個人後期高齢者

医療制度について

質問

日本共産党

右山 正美

◆後期高齢者医療制度

問 来年4月から75歳以上のすべての国民が加入する新たな保険「後期高齢者医療制度」が始まります。保険料は年金が月1万5千円以上は天引きされ、介護保険と合わせると月1万円を超え、大変な負担が高齢者の暮らしを直撃します。また、保険の効かない診療が広がり、このまま実施されれば高齢者の命と健康を蝕んでいくことは明らかであり、凍結・中止すべきです。今後のスケジュールと保険料について伺う。

市長 11月の広域連合会議で保険料、保険給付、保険事業などが決定される。保険料の算定方法は、応能応益50対50とし、厚生年金の平均的年金額二百八万円、で、年額にして7万4千円と見込まれている。7割、5割軽減や激変緩和措置も見込まれている。

問 保険税滞納が続くと半年で短期保険証、1年半で資格証明書となる。保険料の減免や免除、猶予などの措置を講じ、一律の保険証の取り上げ、資格証明書の発行をしないことを求めるがどうか。

市長 保険料の減免、徴収猶予は広域連合の条例でできる。滞納される方については、必要な措置が執られるのでご理解をいただきたい。

問 制度運営について広域連合には市町村から一人の議員だけで、市民の実態や意見を反映できない。情報公開の徹底、運営協議会の設置、公聴会の開催をすべきと思うがどうか。

市長 広報公聴計画は、年末年始に広報紙の発行、回覧による広報の予定。被保険者に係わる条例について被保険者等の意見を聞くパブリックコメントを実施する予定である。

判断する。八街市空き地の管理適正化に関する条例

問 市内には分譲の空き地が放置され、草が生い茂り、虫がわき、物が捨てられ付近住民が大変困っている。防犯・防災・住環境整備のために条例を強化し雑草の刈り取りをさせるべきだと思ふがどうか。

市長 所有者の確認できた土地は年2回の雑草除去をお願いしている。今後も所有者の追跡調査をし、空き地の適正管理をしていく。

◆ふれあいバス

問 ふれあいバスの充実について伺う。

今回のダイヤ改正で、病院や市役所、駅での乗り継ぎができなくなり利用者の戸惑いが出ている。台数を増やし、もっと高齢者に配慮すべきであるがどうか。

市長 日常生活における利便性の向上と公共の福祉の増進を図るとともに、児童生徒の安全確保観点で、改善をした。

問 児童から一般の人が利用できる乗り合いタクシーの導入はどうか。

市長 乗り合いタクシーの導入は考えていない。